

V 成果と課題

令和4年度 共に学び、生きる共生社会コンファレンス
主催 宮崎県教育委員会、文部科学省

日本のひなた宮崎県

ひなたのつどい

つながる！
～共に学び、共に生きる社会を目指して～

令和5年 1.21 土
13:00～16:40
オンライン

オープニングメッセージ
金澤 翔子氏(書家)
(文部科学省 スペシャルアドバイザー)

誰もが共に学び、共に生きる社会を宮崎県は目指します。
そのために、私たちは、何を考え、何を実行すべきでしょうか。
障がい者の生涯学習について、みんなで考える1日にしましょう。

参加費 無料

申し込み方法 申込み期限 令和5年1月13日(金)
右のQRコードまたはURLから申込フォームにアクセスし、
必要事項を入力の上、送信してください。
URL: <https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/kOK6mGoa>

お問い合わせ
宮崎県教育庁生涯学習課
生涯学習課総務組
(TEL)0985-26-7244
(FAX)0985-26-7342

こちらの情報を
掲載しています

ひなたのつどい
宮崎県教育委員会
宮崎県生涯学習課
(ウェブページ)
<https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp>



1 成果

(1) コンソーシアムの形成

- 中部地区、南部地区、北部地区の3地区に分かれ、それぞれの地域や委員の実態に即した障がいのある方の生涯学習について展開方策を検討することができた。
- 当事者団体や支援団体、学校、社会福祉、企業等様々な分野や立場を超えた委員間の連携体制を構築することができた。
- 昨年度から市町村教育委員会の生涯学習講座担当職員を委員として委嘱してきたことで、障がいのある方の生涯学習講座を新たに計画する市町村が見られるようになった。

(2) 実践研究

- 県内3地区の実践研究では、市町村行政と民間団体との協働したモデルとなる取組を実施することができ、コンファレンスにおいて報告することができた。
- 県内2校の特別支援学校を「取組推進校」として、学校卒業後の生涯学習のイメージづくりと意欲向上に向けた取組を実施することができ、コンファレンスにおいて紹介することができた。

(3) 普及啓発・情報提供

- 今年度はコンファレンスの名称を「ひなたのつどい」と変更し、162名の参加があった。また、昨年度の課題であった「日頃『共生社会』から距離のある人」の参加が増加し、幅広い立場の方の参加が得られた。
- 今年度は広報業務をテレビ局に委託し、特別番組と啓発CMを制作・放送した。放送直後の県生涯学習課ホームページ「みやぎ学び応援ネット」のアクセス数が急増するなど大きな反響があった。

2 課題

(1) コンソーシアムの形成

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、当初対面式で予定していた協議会4回のうち3回がオンラインでの開催となり、共通理解や計画通り実施することが難しかった。委員同士の共通理解や意見交換など、運営方法について検討が必要である。

(2) 実践研究

- 3地区とも委託団体の取組を中心に実施していったが、各地区の委員との連携・協力体制については十分ではなかった。各委員が当事者意識をもって取り組めるような運営について検討が必要である。

(3) 普及啓発・情報提供

- 「ひなたのつどい」の参加者アンケートから県内団体情報の必要性を再確認した。県内で行われている多様な取組についての情報収集と発信について、県生涯学習課ホームページの活用等、関係団体や委員とともに検討していきたい。
- テレビ局に委託した広報業務は有効であったと考える。次年度も引き続き、広報業務を委託するとともに、SNSなどの他の媒体においても本事業の取組について、普段「共生社会」を意識しない県民に広く周知していきたい。

3 次年度に向けて

(1) コンソーシアムの形成

- 本事業への連携・協力を書面で確認
 - 委員の所属だけでなく、社会教育関係団体や障がい者団体、福祉サービス事業所や特例子会社等、委員を通して関係団体との連携を図っていく。
- コンソーシアム連携協議会の開催
 - 各地区で実施されている公民館等の生涯学習講座との連携を図り、既存の公民館講座のバリアフリー化を検討し、障がいの有無に関わらず誰もが参加できる講座の在り方について協議していく。（コーディネート役、実施主体者、支援者、当事者）
- 市町村公民館担当者研修会
 - 先進的に実施している県内の取組を、市町村の公民館担当職員に周知する場とする。

(2) 実践研究

- 県北・県央・県南のモデル市町村において公民館講座等の実施
 - 既存の公民館講座のバリアフリー化の視点で実践を進めていく。
- 特別支援学校における研究（2校を指定）
 - 卒業後の生涯学習のイメージづくり、意欲向上に向けた授業を実施する。
- 大学における公開講座の実施
 - 県内大学1校をモデルに指定し、障がいのある人が受講できる公開講座を開設する。

(3) 普及啓発・情報提供

- 県内で行われている障がいのある方の生涯学習活動に係る取組についての情報収集と集約
 - 障がい福祉課、市町村、教育事務所、コンソーシアム委員と連携し、情報収集を行う。
- メディアを活用した特別番組・啓発CMで広く「共生社会」の視点を周知
 - 県内のさまざまな障がいのある方の生涯学習の様子や支援団体を県民に広報する。
- ひなたのつどい（共生社会コンファレンス）の開催
 - ねらいを明確にし、そのねらいに沿った開催方法やプログラムを検討していく。

令和4年度「共生社会の実現に向けた生涯学習支援に係る実践研究事業」
実施報告書

宮崎県教育庁生涯学習課
〒880-8502 宮崎県宮崎市橘通東1丁目9番10号
電 話 0985-26-7244